

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **59141878 A**

(43) Date of publication of application: **14.08.84**

(51) Int. Cl.

H04N 5/64

(21) Application number: **58016407**

(71) Applicant: **TANAKA RIICHIRO**

(22) Date of filing: **03.02.83**

(72) Inventor: **TANAKA RIICHIRO**

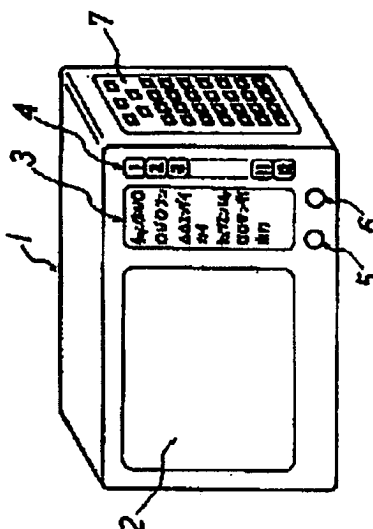
(54) TELEVISION WITH EXCLUSIVE DISPLAY DEVICE FOR PROGRAM

(57) Abstract

PURPOSE: To display a program of an optional TV station on a TV receiver by providing an exclusive display device for program at the circumference of a TV screen.

CONSTITUTION: An exclusive display device 3 for TV program is set at the circumference of a TV screen 2 of a TV receiver main body 1. This device 3 incorporates a microcomputer and calls out in real time the stored TV programs in accordance with time points for display. The TV programs are fed to a microcomputer by means of an input button group 7. When a user wants to know the programs other than that of the projected channel, the user pushes a channel selection button 4 to display the channel No., the time point, the title of the program, the performers, etc. to the device 3. In addition, a time selection button is provided to display an optional program at a designated time point.

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&Japio



19 日本国特許庁 (JP)

11 特許出願公開

12 公開特許公報 (A)

昭59-141878

51 Int. Cl.³

H 04 N 5/64

識別記号

庁内整理番号

7013 -5C

43 公開 昭和59年(1984)8月14日

発明の数 1

審査請求 有

(全 2 頁)

50 番組専用表示装置付テレビジョン

有田市箕島158の1

71 出 願 人 田中利一郎

有田市箕島158の1

21 特 願 昭58-15407

22 出 願 昭58(1983)2月3日

74 代 理 人 弁理士 佐々木弘

72 発 明 者 田中利一郎

明 細 書

1. 発明の名称

番組専用表示装置付テレビジョン

2. 特許請求の範囲

マイコンを組み込んだ番組専用表示装置を映像観し、う用テレビ画面の周辺に併設した事を特徴とするテレビジョン受像器。

3. 発明の詳細な説明

本発明はテレビ番組の専用表示装置を設けたテレビジョン受像器に関するものである。

従来のテレビジョン受像器では多点通信システム等により二ヶ国語の受信が行えるものやビデオデッキを用いてテレビ受像器の画面に現実に現われている画像と別のテレビ局の放映画像を受像できるものが見受けられるが、往々にして現在観ている中の放映局以外のテレビ局では何が放映されているのか知りたいことがある。このような場合、新聞のテレビ番組欄を取り寄せて調べるか、一時的にテレビチャンネルを切

換えて所望局の放映を確認するという手段をとっていた。

しかしながら、テレビチャンネルを一時的に切換える場合、民放においては頻りにワコーンが放映されているため、選択したテレビ局の放映内容を確認するには相当の時間と不便なコマーシャルの観し、うを第儀なくされてきた。

本発明は、そのような能行を解消し、必要に応じて、直ちに放映中のテレビ画面とは無関係に、テレビ番組専用の表示装置にその時刻のテレビ番組が調局に応じて表示されるテレビジョン受像器を提供するものである。

以下、本発明の実施例について説明する。

図は本発明のテレビジョン受像器の斜視図である。1はテレビジョン受像器本体で、2はテレビジョン受像器のテレビ画面、3はテレビ画面の横に併設したテレビ番組専用表示装置で、テレビ画面の周辺の観し、うい場所に設ければ特に図示の位置に限ることはない。

4はテレビ調局用のチャンネル調許で、テレ

番組専用表示装置の選局部を兼用している。
5はテレビジョン受像器のテレビ画面用電源スイッチ、6はテレビ番組専用表示装置の電源スイッチである。

7はテレビジョン受像器本体に組込まれ、テレビ番組専用表示装置に接続されるマイクロコンピュータ用の入力回路で、新聞等のテレビ番組を自分で入力することができる。

この中に内蔵されているマイクロコンピュータは時計装置と連動し、記憶されているテレビ番組を時刻に応じてリアルタイムで呼び出せるようになっている。

コンピュータの入力は外部入力端子からテープレコーダ等に記録されたプログラムに従ってテレビ番組を入力することもできる。

本発明は以上のような構成を有するものであるから、例えばテレビ画面2で野球の放映を観ようとしている時、他のチャンネル、例えば12チャンネルでは何を放映しているのかを知りたい場合、選局用チャンネル12を押せばテレビ

番組専用表示装置3にチャンネル番号、時刻、番組名、出演者等が入力されたコンピュータの記憶に基づいて直ちに表示される。

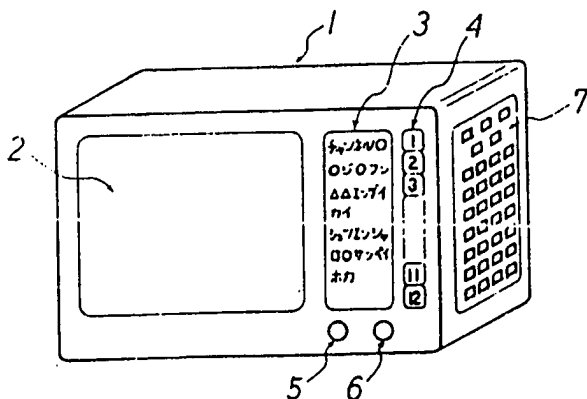
なお、時刻選択部を設けることにより、指定した時刻のテレビ番組を任意に呼び出し表示することもできる。

以上説明したように、本発明のテレビジョン受像器はテレビ番組専用表示装置を併設するので、テレビ画面に映っている映像を消すことなく、任意時刻に任意のテレビ局のテレビ番組を立ちどころに知ることができるものである。

図面の簡単な説明

図は本発明のテレビジョン受像器の外観図である。

- 1……テレビジョン受像器本体
- 2……テレビ画面
- 3……テレビ番組専用表示装置
- 4……テレビ選局用チャンネル組群
- 7……マイクロコンピュータ入力回路



予 統 補 正 書

昭和58年5月16日

特許庁長官

殿

1. 事件の表示

昭和58年特許願第15407号

2. 発明の名称

番組専用表示装置付テレビジョン

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 和歌山県有田市湊路158の1

氏 名 田 中 利 一 郎

4. 代 理 人 特 104

住 所 東京都中央区銀座5-10-13

東洋精米ビル4階 電話572-5348

氏 名 (8445) 弁 理 士 佐々木 弘

5. 補正命令の日付

昭和58年4月6日(発送日 昭和58年4月26日)

6. 補正の対象 明細書中 発明の名称

7. 補正の内容

明細書第1頁第3行目の発明の名称を「番組専用表示装置付テレビジョン」と訂正する。

Int. Cl.³
H 04 N 5/64

識別記号

庁内整理番号
7013--5C

43 公開 昭和59年(1984)8月14日

発明の数 1
審査請求 有

(全 2 頁)

④番組専用表示装置付テレビジョン

有田市箕島158の1

①特 願 昭58-15407

出 願 人 田中利一郎

②出 願 昭58(1983)2月3日

有田市箕島158の1

③発 明 者 田中利一郎

④代 理 人 弁理士 佐々木弘

明 細 書

1. 発明の名称

番組専用表示装置付テレビジョン

2. 特許請求の範囲

マイコンを組み込んだ番組専用表示装置を映像
観し、う用テレビ画面の周辺に併設した事を特
徴とするテレビジョン受像器。

3. 発明の詳細な説明

本発明はテレビ番組の専用表示装置を設けた
テレビジョン受像器に関するものである。

従来のテレビジョン受像器では、多重通信シス
テム等により二重画題の受信が行えるものやビ
デオデッキを用いてテレビ受像器の画面に現
在映し、う中の放映局以外のテレビ局では
何が放映されているのか知りたいことがある。
このような場合、新聞のテレビ番組表を取り寄
せて調べるか、一時的にテレビチャンネルを切

換えて所望局の放映を確認するという手段をと
っていた。

しかしながら、テレビチャンネルを一時的に
切換える場合、民放においては頻りにコマー
シャルが放映されているため、選択したテレビ局
の放映内容を確認するには相当の時間不本意な
コマーシャルの観し、うを余儀なくされていた。

本発明は、そのような不都合を解消し、必要
に応じて、直ちに放映中のテレビ画面とは無関
係に、テレビ番組専用の表示装置にその時刻の
テレビ番組が選局に応じて表示されるテレビ
ジョン受像器を提供するものである。

以下、本発明の実施例について説明する。
図は本発明のテレビジョン受像器の斜視図であ
る。1はテレビジョン受像器本体で、2はテレ
ビジョン受像器のテレビ画面、3はテレビ画面
の横に併設したテレビ番組専用表示装置で、テ
レビ画面の周辺の観し、うしやすい場所に設けられ
ては、図示の位置に限ることはない。

4はテレビ選局用のチャンネル組群で、テレ

ビデオ専用表示装置の選局部を兼用している。
5はテレビジョン受像部のテレビ画面用電源スイッチ、6はテレビ番組専用表示装置の電源スイッチである。

7はテレビジョン受像器本体に組込まれ、テレビ番組専用表示装置に接続されるマイクロコンピュータ用の入力部群で、新聞等のテレビ番組を自分で入力することができる。

この中に内蔵されているマイクロコンピュータは時計装置と連動し、記憶されているテレビ番組を時刻に応じてリアルタイムで呼び出せるようになっている。

コンピュータの入力は外部入力端子からテープレコーダ等に記録されたプログラムに従ってテレビ番組を入力することもできる。

本発明は以上のような構成を有するものであるから、例えばテレビ画面2で野球の放送を観ようとしている時、他のチャンネル、例えば12チャンネルでは何を放送しているのかを知りたい場合、選局用チャンネル組12を押せばテレビ

番組専用表示装置3にチャンネルナンバ、時刻、番組名、出演者等が入力されたコンピュータの記憶に基づいて直ちに表示される。

なお、時刻選取部を設けることにより、指定した時刻のテレビ番組を任意に呼び出し表示することもできる。

と説明したように、本発明のテレビジョン受像器はテレビ番組専用表示装置を併設したので、テレビ画面に映っている映像を消すことなく、任意時刻に任意のテレビ局のテレビ番組を立ちどころに知ることができるものである。

図面の簡単な説明

図は本発明のテレビジョン受像器の斜視図である。

- 1……テレビジョン受像器本体
- 2……テレビ画面
- 3……テレビ番組専用表示装置
- 4……テレビ選局用チャンネル部群
- 7……マイクロコンピュータ入力部群

予 読 補 正 書

昭和58年5月16日

特許庁長官

殿

1. 事件の表示

昭和58年特許願第15407号

2. 発明の名称

番組専用表示装置付テレビジョン

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 和歌山県有田市築島158の1

氏 名 田 中 利 一 郎

4. 代理人 田 104

住 所 東京都中央区銀座5-10-13

東洋精米ビル4階 電話572-5348

氏 名 (8443) 井 堀 士 佐々木

5. 補正命令の日付

昭和58年4月6日(発送日 昭和58年4月26日)

6. 補正の対象 明細書中 発明の名称。

7. 補正の内容

明細書第1頁第3行目の発明の名称を「番組専用表示装置付テレビジョン」と訂正する。

